

小野市指定文化財マップ

小野市内にある指定・登録文化財は 51 件。その内 23 件が浄土寺関連の文化財になっています。建造物が 12 件と最も多いですが、西脇獅子舞といった無形の民俗文化財なども指定されています。

区分

指定		登録	
国	県	市	県
15	10	25	1

指定文化財

有形文化財	建造物	■
	美術工芸品	■
民俗文化財	無形の民俗文化財	◆
	有形の民俗文化財	◆
記念物	遺跡	▲
	動植物及び地質鉱物	▼



小野を代表する地場産業、播州そろばん。昭和30年代の最盛期を過ぎ、電卓やパソコンの普及に押され、業界は低迷している。それでもなお全国シェアの約7割を生産。国の伝統的工芸品としての誇りを持ち、新製品やアイデア商品の開発、学校教育での取り組みなど懸命な健闘が続いている。

8月8日は「そろばんの日」。播州そろばんの過去・現在を見つめ、将来の展望をはじめてみた。

ルーツは大阪・堺

「播州そろばんは1580年に羽柴秀吉が三木城を攻めたとき、近江(滋賀県)へ逃れた住民が大津そろばんの製法を三木に持ち帰ったのが始まり」

市の市政要覧や観光パンフ類はすべて大津をルーツとしているが、近年の研究ではこれは伝承の域を出ないようだ。地元の研究者、坂田大爾さん(市文化財保護委員長)によると、江戸時代、算盤生産の盛んだった堺から三木特産の金物取引の縁で三木に堺算盤の技法が導入された。さらに19世紀中ごろ、三木算盤の下請けで小野でも生産が始まったという(「播州算盤沿革史」)。



形態・構造に工夫を凝らしたそろばんも

昨夏、出版された「播州そろばん」(久保田輝男・鹿野文著)も詳細な検討をもとに「ルーツは堺」と提唱している。

算盤復興へ 活性化事業

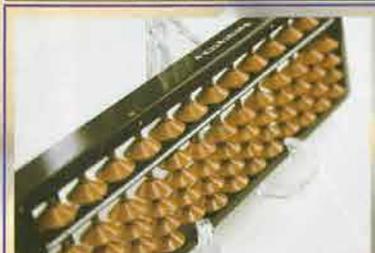
戦前から戦後にかけて日本一の産地となり、戦後の高度経済成長に乗り、昭和35年に年間生産360万丁とピークを迎えた。アイデア商品の先駆、木珠のれん

も大ブームとなった。

だが、最盛期も束の間、算盤の強敵が出現した。電卓だ。算盤離れが急速に進み、倒産の憂き目を見る企業も出た。産地の生き残りかけた戦略の一つが、通産省(当時)による伝統的工芸品の指定だ(1976年)。

しかし、需要減退は続き、後継者育成や設備投資は進まず、年間生産量は約15万丁にとどまる。

こうした現状を踏まえ、市では算盤復興を目指し、算盤の普及や新商品開発に補助金を出している。また、平成21年度から3年間、小野商工会議所では「地場産業活性化事業」専門スタッフを配置している。明るい展望



出生記念そろばん

平成19年4月から市内の赤ちゃんに贈ったそろばんの数は、約1,400丁(播州算盤工芸品協同組合などの取り組み)

を弾きだしたいものだ。

新殖産品や関連商品

そろばんの現状と未来を見据え、伝統文化を伝えるための商品開発が進む。

最近では、商品価値などから選定する新殖産品に、伝統的工芸品・箱根寄木細工と共同開発した「アートなそろばん」や、五か九の位置で玉が固定する受験応援グッズ「合格お守りそろばん」がある。



合格お守りそろばん (絨ダイイチ)



アートなそろばん (播州算盤工芸品協同組合)

8月8日は「そろばんの日」

「パチパチ」という算盤玉をはじく音にちなみ、全国算盤教育連盟が1968年、8・8をもじって制定した。そろばんの普及・振興を願う趣旨で、この日に全国的な珠算大会も催される。小野市も昨年まで毎年8月に高校生による「そろばん甲子園」を開いていた。

また関連商品には、ほどこい目隠しが特徴の「そろばんの珠を使ったスクリーン」や、高校生のアイデアから商品化された「そろばんマドレーヌ」など、そろばんに親しみをもつてもらうための模索は続く。



願
い
ま
し
て
は



そろばんマドレーヌ (ルージュフォンセ)



そろばんの珠を使ったスクリーン(絨ヤマソロ)

算盤でのまちづくり

小野っ子は

計算強い！

市内の小学校では、算数担当の先生が制作したオリジナルの「脳を鍛えるそろばんテキスト」を使い、3・4年生を中心に算数の授業や朝の授業が始まる前の時間に、そろばん学習に取り組んでいる。特に、大部小学校では、パチパチタイム週1回・朝15分の時間に、百玉そろばんや実



はちまきを締めてパチパチタイムに取り組む児童(大部小学校)



伝統工芸士からそろばんの作り方を学ぶ児童(市場小学校)

小野のそろばんが映画デビュー

今年の12月4日に公開予定の「武士の家計簿」で使われているそろばんは、小野市の播州算盤工芸品協同組合のメンバーらが忠実に再現したもの。映画は、加賀藩でそろばんの腕と経理の才能で出世した御算用者(会計担当)のひとりりを主人公とした物語になっています。小野のそろばんは、御算用場などのシーンで登場します。

監督 森田芳光
出演 堺雅人 仲間由紀恵
松坂慶子 西村雅彦ほか
原作 磯田道史

「武士の家計簿」加賀藩御算用者の幕末維新

配給 アスミック・エース/松竹



12月4日公開

力別のプリントに挑戦。年2回は、体育館に全校生が集

まり「読み上げ算」に取り組むなど積極的だ。

毎年2月には市内の3年生が集まる「小野市小学生珠算大会」があり、学習の成果を競い合っている。

そのほか、伝統産業としてのそろばんの学習や、「マイそろばんづくり(そろばんづくり体験)」など独自の教育で、そろばんの持つ様々な効果に期待がかかる。

そろばん学習には、脳の活性化、計算力の養成、集中力アップなどの効果があるとされる。昔にさかのぼると小野、柳藩の藩校「帰正館」では、算

盤も教えていたといわれている。小野市のそろばん教育のルーツは藩校と言えそうだ。

市内の見どころ紹介

夏休みの自由研究にも

この特集に興味を持たれた方で、そろばんのことをもっと知りたい方にお勧めのスポットを紹介します。

まず市役所のそばの伝統産業会館。江戸時代の古い算盤、

広報アドバイザーに、元朝日新聞記者を任命

市では、より効果的な広報活動を推進するため7月から「学術政策員(広報アドバイザー)」として元朝日新聞記者、佐野允彦さん(63)を任命しました。広報「おの」やメディアなどの市政情報発信の企画・助言が主な業務となります。

このページを企画しました!

現役最後の約5年半、北播磨地域を担当しました。お世話になった皆さんに少しでもご恩返しができるように考えています。



変わった算盤、珠で作った姫路城模型、算盤製作工具などたくさん資料が展示されています。好古館には古いお店の帳場が再現され、そろばんの大きな看板もかかっています。小野商店街の愛宕神社には、算盤仲間が寄進した石灯籠も。

白雲谷温泉ゆびかには古い算盤などが展示され、小さいながらそろばんの神社まであります。

もっと勉強したい人は市立図書館へ。参考文献が、いろいろそろっています。

小野市珠算競技大会
時8月6日(金)10時~12時30分
小野市伝統産業会館
「そろばん組み立て」実演もあります